

カミツキガメについて

2021年6月と、2022年4月に新居浜市内のため池周辺で特定外来生物「カミツキガメ」が各1頭確認されています。水中では人間に対する攻撃性は無く、咬傷被害はありませんが、産卵等で上陸した個体は不用意に近づくと威嚇してくることがありますので注意が必要です。

■カミツキガメとは？

【特定外来生物】

原産地：カナダ、アメリカ合衆国、中央アメリカ他

1960年代以降、アメリカ合衆国から日本に愛玩目的で輸入されたのが始まりです。大型になり飼いきれなくなった個体が遺棄され、天敵も少ないことから国内の一部で定着しています。

- 産卵時期：5～6月
- 産卵回数：1回/年 75～95日で孵化
- 産卵数：背甲長20cm→20個
背甲長30cm→30個
- 成熟サイズ：背甲長17cm(生後5～6年必要?)
- 成長速度：3歳までに急激に成長
- 繁殖の可能性が高い都府県
千葉県、東京都、静岡県、神奈川県、大阪府、**愛媛県**

■カミツキガメの外観特徴



背甲は緑色～オリーブ色で、在来の淡水カメ類と比較して大型になる。3本の隆起も発達するが、目立たないこともある(写真①)。



成熟個体は4肢共に爪が発達(写真②)。



背甲後縁はギザギザが目立ち、尾にも複数の突起が発達(写真③)。



腹甲は小さく十字状(写真④)。



幼体は背甲の隆起が目立つ(写真⑤)。



新居浜市で捕獲されたカミツキガメ

■県内に分布しているカメ



クサガメ



ニホンイシガメ



ニホンスッポン



アカミミガメ(成体)



アカミミガメ(幼体)

市内でカミツキガメを見かけた時の連絡先
新居浜市環境衛生課 TEL0897-65-1512

【資料制作】

愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター
〒791-0211 愛媛県東温市見奈良1545番地4
seibutsu-cnt@pref.ehime.lg.jp